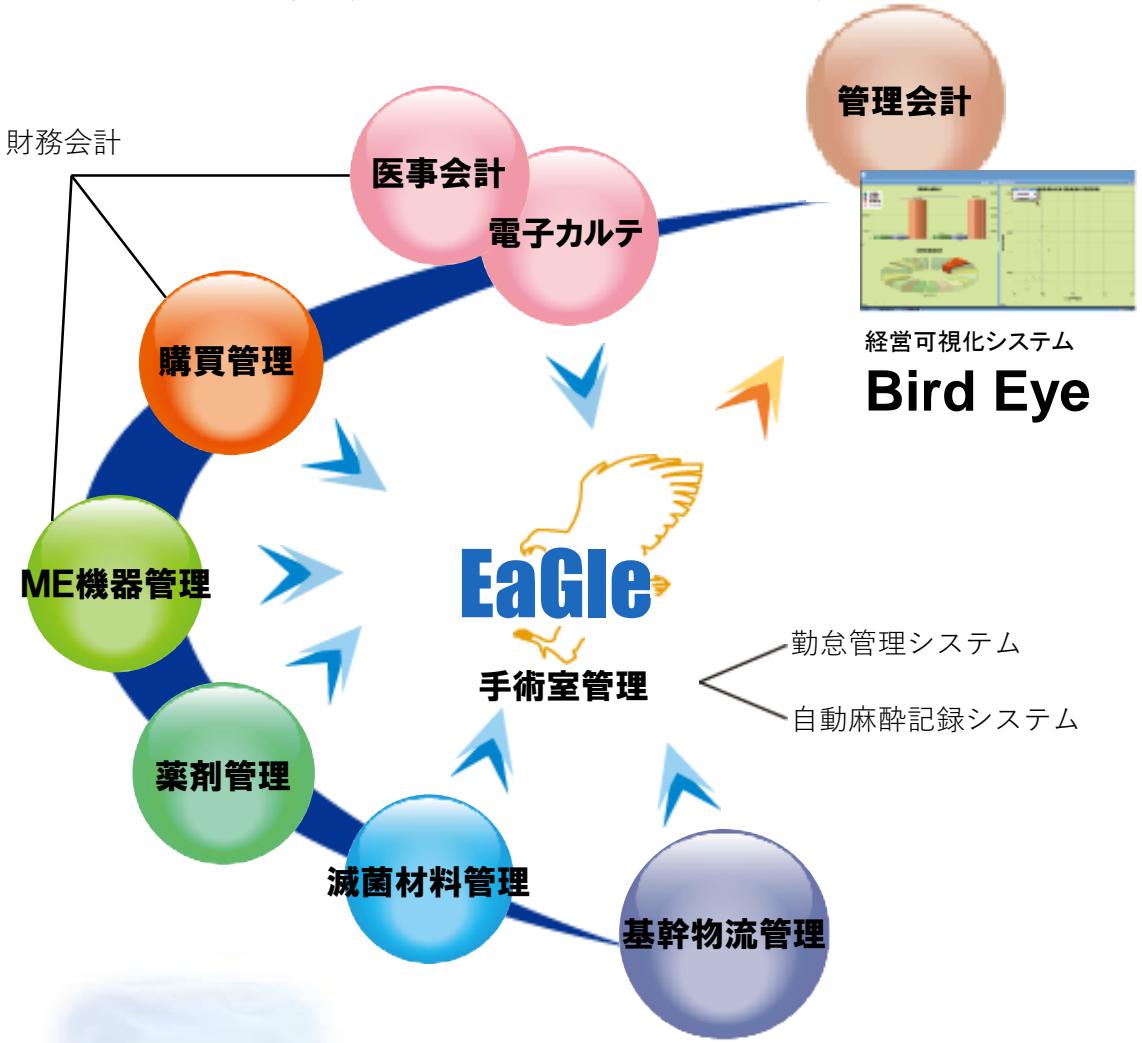


# 院内システム連携例

基幹物流管理システムなど他の院内システムと私たちの推奨するHDR (Hospital Data Repository) を介して連携することで、シームレスな『EaGle』との連動が行えます。そして各部門の業務効率化を図るための、よりリアルタイムな情報の共有を可能にします。



## 手術室管理支援システム



販売: 開発元:

**株式会社DynaxT**  
ダイナックス ティ

〒761-0301 香川県高松市林町 2217 番地 6  
 TEL : 087-887-8881 FAX : 087-887-8889  
 URL <http://www.dynaxt.co.jp/>  
 Email [info@dynaxt.co.jp](mailto:info@dynaxt.co.jp)

Think Hospitality for Hospital



Think Hospitality for Hospital



病院の収入や支出に最も影響を与える手術部門。『EaGle』は、手術部門の計画と準備、術中記録、術後報告と記録を一元管理するシステムです。また、これまで難しいとされてきた経営分析をも可能にし、物流管理システムや他のシステムとの連携により、病院全体の管理が飛躍的に向上します。

### 計画

HISと連携し、手術オーダーから手術予定を作成。執刀医、助手、看護師などを勤務予定を参照しながら登録。必要な薬剤、機器、材料、輸血などの準備を支援し、術前の最終確認まで管理・記録ができます。

### 準備

手術で使用する薬品、院内製剤、材料、ME機器、特殊器械、鋼製小物、輸血などを確認しながらピッキング。術前には、再度準備物の確認を行うためバーコードを使った検品が可能。使用期限や滅菌切れを予防できます。

### 術中

手術中は、使用した薬品や材料の記録、材料などのロス管理や機器、器械のなどの使用実績登録ができます。麻酔管理システムとの連携も可能。また、手術室内利便性を高めるためiPadやTablet PCにも対応。

### 術後

術中で記録したデータをHISへ連携。材料などの消費データは院内物流システムへ連携し、在庫切れを防ぎます。また、手術台帳や日誌などの報告書作成を行うことができ、術後訪問の経過記録も作成することが可能です。

### 分析

ダッシュボードシステムと連携し、手術室の稼働状況、在室時間別各科手術件数、術式別手術時間など、術中に記録したデータを視覚化し、経営分析に指標としてお使い頂けます。

## 手術予定管理機能

各手術室のスケジュール管理を行ったり、病名、感染症、入院・外来、主治医などの患者情報、助手、麻酔医、看護師など勤務予定を参照しながらの必要な手術予定を作成することが可能です。



## 機器・薬剤・材料管理機能

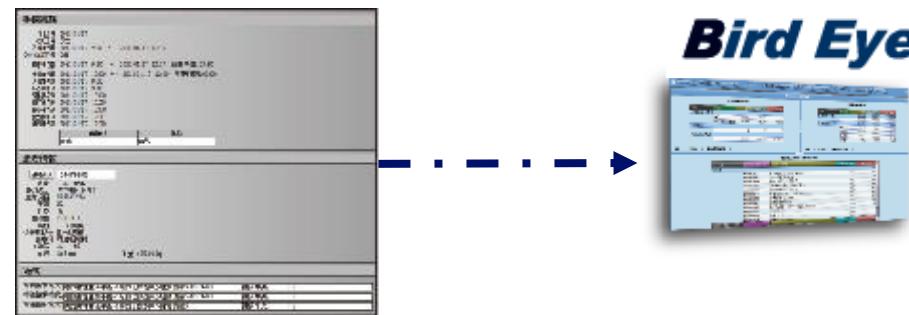
オーダーからもらった情報を基に、手術予定に合わせた材料、器機の準備物登録やセット管理、術前検品などが行えます。また、術中においてもバーコードリーダーでGS1バーコードなどを読み込むことで自動的に使用した材料、機器、薬剤等の判別を行い、登録が行えるので、術後に行っていた材料や薬剤の消費、使った器機の登録などの漏れを防ぐことができます。また、手術部特有の手術セットやコンテナのマスタ管理も簡単に行うことができます。



指定のExcelフォーマットに従って編集したマスタデータを一括取込

## 報告書・台帳作成機能

登録した手術の実績などを簡単に確認することができます。また、手術予定表や手術室別各科手術件数、月別感染症数、手術台帳など各種帳票出力や術前訪問、術後訪問の記録作成、術中看護の記録などを登録することも可能です。



## 導入事例

手術室の新設に伴いシステムのリプレイスも行うが、電子カルテや麻酔記録管理システムだけでは足りない機能も多く、運用に手間がかかる。  
(2014年導入予定 九州地方 A病院)

DPC対応のためにも患者別のコスト管理を行いたいが、医療材料の消費が患者別で集計できない。医事とも連携して請求漏れなどをなくしていきたい。

バーコードリーダーでGS1バーコードを読むだけで簡単に消費の登録ができ、HISや自動麻酔管理システムとも手術予定の連携ができるため、医療材料の消費の記録が容易に可能になった。

手術の場合、業者持ち込みのマスタ未登録の医療材料なども頻繁に発生する。マスタ未登録でシステムへの記録ができないと医事課との疎通の効率がとても悪くなり、時間がかかってしまう。

各医療材料固有のバーコードだけで登録が可能。マスタ未登録材料があることを用度課などの担当者が事後で登録できるため、請求漏れも防止でき、医事課との連携もスムーズに行える。



## HIS連携機能

オーダーリングシステムからの手術オーダーや材料、薬剤などの消費、器機の利用実績などの情報を電子カルテなどに連携することが可能です。また、術式・処置・麻酔加算などの登録も行え、医事との突合せなども行えます。

## 麻酔自動記録システム連携機能

麻酔自動記録システムとの連携を行い、麻酔自動記録システムに登録された薬剤の消費などを連携して行うことができ、使い分けを行って頂くことで二度打ちなどの手間を削減できます。